

『表現学』第5号（2019年3月5日）抜刷
大正大学表現学部表現文化学科

日本人大学生の日本語聴解力に関する調査研究（2）
—オーセンティック教材聞き取りの誤答分析—

中島 紀子

日本大学生の日本語聴解力に関する調査研究（2）

—オーセンティック教材聞き取りの誤答分析—

中島 紀子

1. 研究目的

旧稿（『表現学』第3号）において、小学校から高等学校までの学習指導要領にあたり、大学以前の学校教育の現場では、言語を運営する上で必要な四技能のうち「聞く」能力の育成をどのように取り上げているかを確認し、「聞く」ことに焦点を当てた学びが取り入れられることが少ないことを指摘した。そのうえで、日本人大学生（以下、「日本人学生」とする）の日本語運用能力の低下、その中でも「聞く」能力が低下していることに注目し、オーセンティック（authentic）な教材を利用した聴解学習を授業に取り入れることを提案した。さらに、「聞く」能力が低下する要因の一つとして、テレビの字幕放送の普及に着目し考察した。

本稿では、その後二度にわたって授業の中で聴解学習を導入した結果を分析するとともに、授業終了時に受講生が記入するコメントシートに寄せられた聴解学習に関するコメントから聴解学習の効果の測定を試みる。また、各学期末に実施したアンケート調査から大正大学学部生の大学以前の聴解学習の実態を知り、聴解力低下とテレビ視聴との関係についても探し、聴解能力、ひいてはコミュニケーション能力を向上させるために効果的なオーセンティック教材を追求する。

2. オーセンティック教材による聴解力調査

調査は、受講生（被験者）数が多く複数の学科にわたっていること、また学年が限られていないことから、今回もⅠ類の授業（「文化の探究F-2（ふしげな日本語）」）において、穴あきプリントに聞き取った言葉（左側にひらがな、右側に漢字）を記入する方法で聴解学習を実施した。前回調査同様オーセンティック教材を選択するにあたっては、興味を持って聴解学習に取り組んでもらうために、大学生の周辺にあるものを使用することと、なるべく旬の素材を扱うことの二点に留意した。また、再現可能な点から今回もYouTubeの

動画を利用し、学習効果を考え1分30秒から、長くても3分程度の長さのものを採用した。

調査対象者は出席者全員であったが、調査結果をまとめるに当たり、7回全てを受講し、なおかつプリントに記入漏れのなかった履修者、平成（以下「H」と表記する）29年度は36名、H30年度は27名を有効回答とした。被験対象となる受講者数の内訳は以下のとおりである。

<H29年度>

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
男子	11	2	0	0	13
女子	18	3	1	1	23
合計	29	5	1	1	36

<H30年度>

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
男子	0	7	3	0	10
女子	0	12	5	0	17
合計	0	19	8	0	27

2.1 教材選択

前回調査（H28年度）は1回目から5回目までに実施したが、H29年度、H30年度においてはさらに2回追加し、以下のとおりの題材で試みた。なお、旧稿に配布資料を掲載したものに関しては割愛し、新たに文字起こしをしたもののみ資料として添付する。

2.1.1 第1回（2017.9.27／2018.9.26）実施

三浦しをん氏原作のアニメ「舟を編む」のプロモーションビデオ（以下「PV」とする）1分28秒を取り上げた。前回実施した際、授業終わりのコメントより、学生にとって正しく聞こうとする意欲の喚起になり、難易度も適当であったと判断でき、再度活用した。

2.1.2 第2回（2017.10.4／2018.10.3）実施

H29年度は前年に引き続き大隅良典先生のノーベル賞受賞のインタビューから1分50秒程を抜粋した。

H30年度には、授業実施の2日前に本庶佑先生がノーベル生理学・医学賞を受賞したため、同じ受賞インタビューだが最新のものに切り替え実施した（資料1）。

2.1.3 第3回（2017.10.11／2018.10.10）実施

H28年6月より満18歳以上の人々に選挙権が与えられたことにより全受講生が選挙権を持つため、政治の話題は適していると考えられる。そこで前回調査は都議会において行われた小池百合子都知事の所信表明を題材にしたが、1年が経過したため、新たに旬なものとして、平成24年より、ニコニコ動画で発信される「ネット党首討論」を取り入れた（資料2）。

2.1.4 第4回（2017.10.18／2018.10.17）実施

H29年度は、前回調査に引き続き長編アニメーション映画「君の名は。」がスペイン・シッヂエス映画祭のアニメ部門で最優秀長編作品賞を受賞した模様を取り上げた。しかし、「君の名は。」はお腹がいっぱいだという受講生のコメントや旬な話題ではなくなってきたため、H30年度は授業3日前に放送された『林先生が驚く初耳学！』に変更した（資料3）。

2.1.5 第5回（2017.10.26／2018.10.25）実施

新たな試みとしてTED（Technology Entertainment Design）の日本語スピーチを取り上げてみた。さまざまな分野の人々がプレゼンテーションを行うもので、講演者は著名人から一般人まで幅広く、話すことがプロではない日本人の参加者もいるため、オーセンティック教材として相応しいと判断した。TEDxTokyoの中から日本語で行われたスピーチを選んだ（資料4）。

2.1.6 第6回（2017.11.15／2018.11.7）実施

「大学生」「面白い講義」で検索をかけたところ、いくつかヒットするものがあったが、講演者が大学生や新入社員を対象に数多く研修を行い、再生可能な動画数も多いことから渋谷文武氏のスピーチを新たに取り上げた（資料5）。

2.1.7 第7回（2018.1.10／2019.1.9）実施

ますますSNSの利用率が高まる中、動画共有サービスの一つであるニコニコ動画から、「この世界の片隅に」を扱った動画の聴解を試した（資料6）。ニコニコ動画はピーク時からはやや下火になった感はあるが、動画共有サービスであるスポーツの祭典（FIFAワールドカップや最近ではテニスの四大大会など）が行わ

れるたびに話題となるので、大学生の身近にあるツールと言えよう。

2.2 調査結果

調査を実施した結果、H29年度では、前回調査同様第1回、2回、4回で全問間違えずに聞き取れた学生は10%程度と低く、新しく導入した第3回（党首討論）については全問正當者は5%程度にとどまった。しかし、新たに試みた第5回から7回に関しては漢字こそ正確に書けないものの、半数近くの被験者が全問を正確に聞き取っていた。ただし、答え合わせの際、正誤がわかるように、鉛筆以外のものを使用してマークするように指示を出しているにも関わらず、用紙を回収すると鉛筆のみで記入している学生も多く、正答率の信憑性が低くなる回もあった。

H30年度では、第1回以外の全ての回で前回調査とは異なるオーセンティック教材を使用することとなつたが、どの回においても全問正確に聞き取ることは容易ではないことがうかがえる。しかし、前年同様、第5回から7回については、聞き取りの正答率が高く半数以上の全問正解者が見受けられた。だが、ここでも同様の問題が見られ、鉛筆のみで記入している学生がいるため、正確なデータをとることができなかつた。

資料1から6にあるように、聴解学習の最後に、聞き取りした言葉に関して、4つの選択肢〔1自分で使っている2自分で使っていないが意味はわかる3聞いたことはあるが意味は知らない4言葉自体知らない〕の中から当てはまるものを選び記入するようになっている。

聞き取った言葉に関して、選択肢「3聞いたことはあるが意味は知らない」と「4言葉自体知らない」を選んだ合計人数の多いものから並べたものが表1・表2である。前回調査では、使用度・理解度の低い言葉（選択肢3並びに4）であることが誤答の直接の要因になるとは言えなかつた。一方、聞き取りで誤答の多かったものは、選択肢3または4を選択するケースが多かつた。

今回の調査結果を見ても、前回調査と同じ結果となつた。つまり、使用度・理解度の低い言葉だからと言って必ずしも聞き取りが難しいわけではないが、正しく答えられなかつたものは使用度・理解度の低い言葉であることが多いと言えるのである。例えば、H29年度4回目の聴解において、「どちらか」という言葉を正確に聞き取ることはできるが、3、4を選択しているため、使用度・理解度は低いことがわかる。

表1 使用度・理解度と誤答との関係 (H29年度) 有効回答数 36

聞き取りをした ひらがな／漢字	回答3、4 合計数 (%)	<聞き取り>		<漢字>	
		誤答数	誤答例 (各項目無記入あり)	誤答数	誤答例 (各項目無記入あり)
※たんでき／耽溺	26 (72.2)	11 (30.6)	たんでき、たんれき、	15	端的
こっし／骨子	22 (61.1)	12 (33.3)	こし、ご、ごし、ぼし	11	(無記入のみ)
どちらく／土着	18 (50.0)	1 (2.8)	(無記入のみ)	4	(無記入のみ)
どうてき／動的	16 (44.4)	16 (44.4)	あつとうてき、いと、きょうてき、しょうげき、そうてき、とうてき、りそうてき、〇てき、	16	圧倒的、意図、衝撃、理想的、〇的
ほつき／発議	14 (38.9)	13 (36.1)	けつぎ、そつき、そつじ、ほつき、ほつじ、よつき、〇じ	14	決議、卒時
※いとわづ／厭わづ	13 (36.1)	2 (5.6)	いとわ	13	嫌わづ
こうがく／光学	11 (30.6)	8 (22.2)	こう〇、こうかく	11	広角、工学
たんば／担保	10 (27.8)	12 (33.3)	かくほ、かんほ、かんば、たんほ	11	確保、完歩、完保
かくした／画した	5 (13.9)	7 (19.4)	かく、かした、がしてる	9	隠した
※たたずむ／併む	5 (13.9)	1 (2.8)	(無記入のみ)	14	傍む、

表2 使用度・理解度と誤答との関係 (H30年度) 有効回答数 27

聞き取りをした ひらがな／漢字	回答3、4 合計数 (%)	<聞き取り>		<漢字>	
		誤答数	誤答例 (各項目無記入あり)	誤答数	誤答例 (各項目無記入あり)
ぼうかん／望外	22 (81.5)	19 (70.4)	おうかん、おおかん、ごうかん、ごうかん、ぼうかん、〇かん	19	大概、膨外、豪〇
※たんでき／耽溺	21 (77.8)	12 (44.4)	たんでき	16	端的、單的、淡的
ほつき／発議	19 (70.1)	20 (74.1)	けつぎ、そつき、そつじ、ほつじ	20	決議
たんば／担保	11 (51.8)	11 (40.7)	かくほ、かくば、かんぶ、かんほ、かんば	20	確保、完保、探保、〇付、〇保
※いとわづ／厭わづ	8 (29.6)	0		13	嘗づ
ままはね／繼母	7 (25.9)	0		8	義母、〇母
なんじ／汝	7 (25.9)	1 (3.7)	(無記入のみ)	6	己
かいき／回帰	7 (25.9)	0		16	回起、快氣、快機、恒帰、改起
プライスレス	6 (22.2)	1 (3.7)		2	プラス
めんえきりょうほう／免疫療法	6 (22.2)	1 (3.7)	めんいきりょうほう	4	療方
だんあつ／彈圧	5 (18.5)	0		5	断圧

その要因として、4回目の聽解はテレビニュースの聞き取りであり、話し手がプロの男性アナウンサーであることが考えられる。そのため「どちらく」という言葉自体は知らないても聞き取ることは可能である。

同様に、H29年度並びにH30年度の1回目の聞き取りは、既製のPVであるため、プロの声優による編集・録音であることが想像される。「たんでき」「いとわづ」「たたずむ」という言葉を使ったことがなくても、正

しく聞き取ることには影響がなく正答を導くこととなる。

2.3 誤答分析

誤答数が多かったものは H29 年度（有効回答数 36 のうち）では、「動的」をあつとうてき、いと、きようてき、しうげき、そうてき、とうてき、りそうてき、〇てき（計 16）「発議」をけつぎ、そつぎ、そつじ、ほつき、ほつじ、よつき、〇じ（計 13）「骨子」をこし、ご、ごし、ぼし（計 12）「担保」をかくほ、かんほ、かんぽ、たんほ（計 12）「耽溺」をたんてき、たんれき（計 11）とし、H30 年度（有効回答数 27 のうち）では、「発議」をけつぎ、そつぎ、そつじ、ほつじ（計 20）「望外」をおうがい、おおがい、ごうかい、ごうがい、ぼうかい、〇かい（計 19）「耽溺」をたんてき（計 12）「担保」をかくほ、かくぼ、かんぶ、かんほ、かんぽ（計 11）とする誤りが挙げられる。

「どうてき」をそうてき、「ほつき」をそつぎ、ほつじ、「たんぽ」をかんぽ、「ぼうがい」をごうがいと間違えるなど、いわゆるミニマル・ペアができ上がってすることは聞き取りの誤りとしては当然と言えよう。

前回調査でも触れたが、非母語話者に見られる特殊音（長音、促音、拗音、撥音など）の聞き違いはほとんど見られない。今回も「こっし」に関しては、言葉自体を知らなかつた人が多く促音が抜け「こし」とした人が 6 名いた。「たんでき」をたんてき、「こっし」をごしとする清濁の誤りが少數ではあるが母語話者である日本人学生にも見られた。

使用度・理解度が低い言葉に関しては、漢字が書けないケースが殆どであった。

もと言える。学生達が既に知っている、または使用している既知語であれば聞き取りもたやすく漢字を書ける場合が多いが、日本語母語話者であっても、聞き取り書く作業の中で、文脈から一瞬のうちに漢字を想像することは至難の業である。

学生自身が多数コメントしているように、漢字力の低下は顕著であろう。今回の 7 回目（2018.1.10 並びに 2019.1.9 実施）の聞き取りでは、「淡々」を「たんた」と書いた一人以外全員が正しく聞き取っていたが、漢字の誤り（单々、胆々、端々、单淡など）が多くみられた。

3. 学生のコメント分析

授業終わりに当日の授業のふりかえりを記入しても

らうが、前回調査同様、特に聴解学習に関して記入するよう指示を出しているわけではないにも関わらず、聴解に関するコメントが毎回多く書かれている。「日本人でも聞きとりのときのようにまだ分からない日本語もあるということが分かった。（H29 第 1 回 1 年生）」「普段から日本語を使っている日本人であっても違う言葉に聞こえてしまったりというまちがいはあるということを実感しました。（H29 第 1 回 3 年生）」「日本語を子どもの頃から使っているのに、分からない日本語や分からぬ漢字がたくさんあったことに驚きました。（H30 第 1 回 2 年生）」のように、日本人だから日本語が聞き取れて当然だという考えが根本にあるようで、初めて日本語の聴解に挑戦し、母語話者が母語を知らなかつたり、聞き間違えていることに気づいたというコメントが多い。以下はコメントシートに記入されたままのコメントを転記したものである。

3.1 聴解について

- ・聴解を得意になりたいと思いました。今回の聴解のものはリアルタイムでみたものだったので、あまり覚えていなかったのでこういうものも注意して聴解していきたいです。（H30 第 4 回 3 年生）
- ・日本語の聞き取りも、知っている言葉なら聞き取ることができたが、そうでないととても難しかった。（H29 第 1 回 1 年生）
- ・何度か聴解をしましたが、なじみのない言葉ほど聞きとれないんだなと思いました。ききとれなかつたものは最後に 3、4 を付けることが多いです。（H30 第 3 回 2 年生）

3.2 字幕について

- ・大限さんのスピーチを聞いていてニュースなどで聞いたときには字幕が付いているので聞きとりやすかつたのだと思った。（H29 第 2 回 2 年生）
- ・歌やアニメを見るときは意識しようと思った。とくに音楽のテレビでは字幕が出るため、わかりやすく、覚えられると思った。（H29 第 2 回 1 年生）
- ・ニュースやインタビューを字幕なしで聞いてみると。（H30 第 2 回 4 年生）

3.3 気づき

3.3.1 語彙力

- ・聴解をやると、語彙力が足りないことを実感するので、本やニュースを見て増やしていきたい。（H29 第 2 回 1 年生）

・討論の映像を聞いた時に、聞いたことはあるけれど、意味が分からぬ言葉が多くだったので、聞き流すではなく意味を考えながら見ていきたいと思った。(H29 第3回1年生)

・普段からニュースを聞いて聴解力を鍛えたい。ただ聞くだけでなく、分からぬ単語を調べるなど語彙力を身につけたい。(H30第2回2年生)

3.3.2 活舌

・声優さんのかつぜつの良さ、ききとりやすさを思い知りました。(H30第1回3年生)

・活舌で相手に伝わる単語が変わってしまうので、はつきりと発音をしようと思います。(H30第1回3年生)

・聴解時、安倍さんの話すスピードが速く、活舌も悪く、聞きとりづらかった。自分も活舌が悪く早口なので、ゆっくりはつきりと話そうと思った。(H30第3回4年生)

3.3.3 漢字能力の低下

・聴き取りが難しかったです。言葉がわかつても漢字が出てこなかつたりするので、少しづつ勉強し直したい。(H29第2回3年生)

・生活では普通につかっている言葉を漢字で書こうとしても書けないということに気づきました。(H30第1回2年生)

・日本語のききとり、最近スマホにばかり頼っていたので漢字がかなり書けなくなっていることに衝撃を受けた。(H30第1回2年生)

・音がききとれても漢字が出てこないことがあるので分かるように学習しようと思います。(H30第5回3年生)

<H29年度>

4. 聽解力に影響を与える要因

4.1 テレビ視聴に関する調査

授業最終日に聴解に関するアンケート用紙(資料7)を配布し受講生に記入してもらった。全間に回答しているものを有効回答とし内訳は以下のとおりである。

<H29年度> 有効回答数91

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
男子	20	6	7	3	36
女子	32	9	11	3	55
合計	52 (57.1%)	15 (16.5%)	18 (19.8%)	6 (6.6%)	91

<H30年度> 有効回答数78

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
男子	1	21	14	12	48
女子	1	17	9	3	30
合計	2 (2.6%)	38 (48.7%)	23 (29.5%)	15 (19.2%)	78

調査の中でテレビ視聴に関しては次の3つの質問をし、それぞれ以下の回答を得た。

問5 平均すると一週間に合計何時間テレビ(ニュースを含む)を見ていますか。

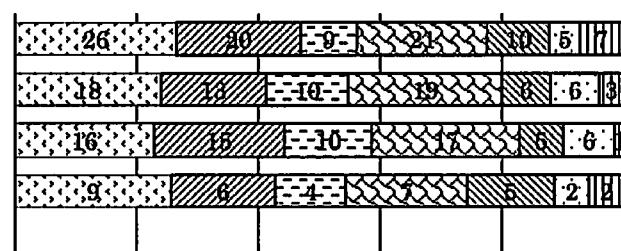
結果、テレビの一週間の合計平均視聴時間は、H29年度では11.27時間(一日平均1.6時間)、H30年度では9.13時間(一日平均1.3時間)だった。H29年度は1年生の割合が高かったためか、H30年度に比べて一日平均0.3時間多くなっている。

問6 どんな番組を見ますか。(いくつでも選択可)

[ニュース・ドラマ・音楽・バラエティー・クイズ・ドキュメンタリー・その他自由記述]

Q: どんな番組を見ますか

1 そう思う(31名)



2 だいたいそう思う(24名)

3 あまりそう思わない(23名)

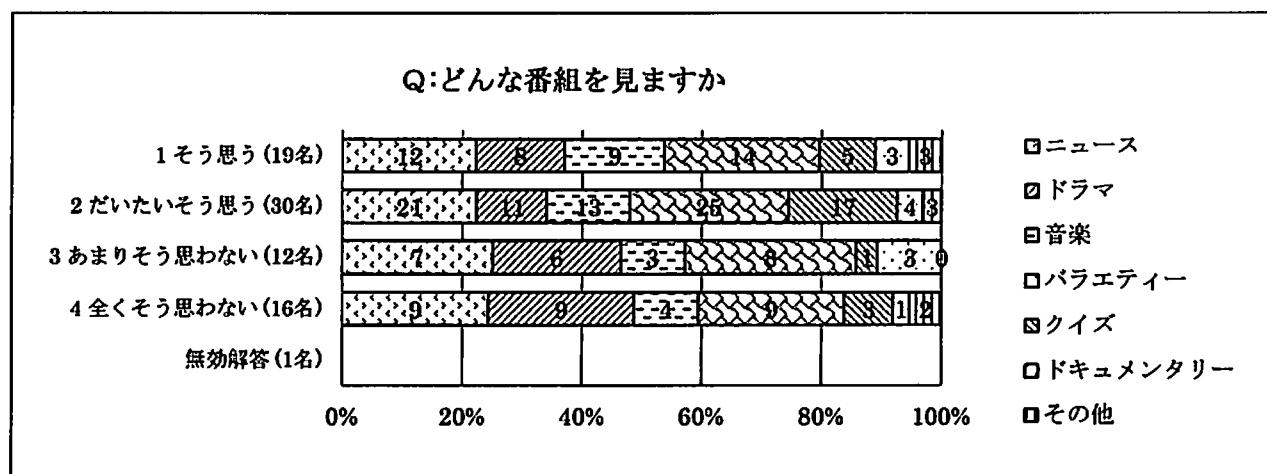
4 全くそう思わない(10名)

無効回答(3名)

- ニュース
- ドラマ
- 音楽
- バラエティー
- クイズ
- ドキュメンタリー
- その他

0% 20% 40% 60% 80% 100%

<H30年度>



前回の調査から、番組内容に関する選択肢を増やしました。番組のジャンルについては、H29年度ではニュース(69)に次いでバラエティー(64)が、H30年度ではバラエティー(56)に次いでニュース(49)が視聴する上位を占めた。

問7テレビを見るとき、画面に出る日本語字幕を読んでいますか。選択肢の中から選んでください。

[1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない]

H29年度、H30年度ともに、「1 そう思う」と「2 だいたいそう思う」を合わせると、60%を超える学生が字幕を読んでいる結果となった。

<H29年度>

選択肢	1	2	3	4	見ない
1年生 (52)	19	12	15	4	2
2年生 (15)	5	4	4	2	
3年生 (18)	3	7	4	3	1
4年生 (6)	4	1	0	1	
合計	31	24	23	10	3
	34.1%	26.4%	25.3%	10.9%	3.3%

<H30年度>

選択肢	1	2	3	4	見ない
1年生 (2)	1	1	0	0	
2年生 (38)	8	15	7	8	
3年生 (23)	6	8	3	6	
4年生 (15)	4	6	2	2	1
合計	19	30	12	16	1
	24.3%	38.5%	15.4%	20.5%	1.3%

H29年度では、1日平均5時間以上見る人が6人おり、日本語字幕を読む(1 そう思う)と答えた3人も、字幕を読まない(4 全くそう思わない)と答えた3人も共通して見ていると答えたのが、バラエティーであった。一週間に0から1時間しかテレビを見ないと回答した15人のうち字幕を読まない(4 全くそう思わない)と答えた三人の共通点は、ニュースを見ると答えている点である。

H30年度では1日平均5時間以上見る人が2人おり、回答は日本語字幕を読む(2 だいたいそう思う)と字幕を読まない(4 全くそう思わない)とに分かれた。二人の共通点はバラエティーを見ることである。一方、週に0から1時間しかテレビを見ない7人については、4人がニュースを見ると答えたが、残りの3人は、アニメ、ドラマなど回答が分かれた。

以上見てきたように、字幕を読む人と読まない人で、ニュースもしくはバラエティーと答えた人が多く、見ている番組の内容に傾向はあるが、必ずしも一致した答えは見いだせなかった。テレビの内容と日本語字幕を読むことには密接な相関関係はないと言ってよいだろう。

4.2 テレビ視聴とテレビ字幕の関連性

旧稿において、文化庁の平成27年度「国語に関する世論調査」によると「毎日の生活中に必要な情報を何から得ているか」という質問、また、「言葉や言葉の使い方に大きな影響を与えるのは何だと思うか」という質問に対しいずれも「テレビ」と答える人が多かったことを示し、大学生も少なからずテレビから情報を得ていると考えられ、大正大学の学生も例外ではないと仮定し調査を行った。

さらに、総務省が発表した行政指針「視聴覚障害者向け放送普及行政の指針」に関わる最新データ（「平成27年度の字幕放送等の実績」）から、字幕番組の割合が高いことを確認した（同調査の29年度版データを加えたものを以下の表3に示す）。

情報の多くをテレビから得ている場合、字幕放送導入実績の高さから考えると、無意識にテレビの画面上の字幕を読んでいるのではないかと推測され、学生にテレビ視聴に関するアンケート調査（3.1）を行った。

表3 各局の拡充実績

NHK（総合）と在京キー5局の実績	行政指針の普及目標となる放送番組における字幕番組の割合（実績値）		総放送時間に占める字幕放送時間の割合（実績値）	
	平成27年度	平成29年度	平成27年度	平成29年度
日本放送協会（総合）	93.8%	88.5%	80.6%	85.3
日本テレビ放送網（株）	96.7%	100%	50.7%	60.4
（株）TBSテレビ	99.7%	100%	57.6%	59.1
（株）テレビ朝日	100.0%	100%	68.0%	70.1
（株）フジテレビジョン	99.7%	100%	57.2%	58.5
（株）テレビ東京	98.9%	100%	55.7%	59.0%

4.3 その他の要因

授業最終日に行ったアンケートでは、テレビ視聴に関する質問の他、大学以前の学校教育（授業）の影響について調べるために日本語の聞き取りをした経験についても調査した。

問1 これまで国語などの授業で日本語の聞き取りをしたことが【ある・ない】

<H29年度>

ある 36名／ない 55名

-何の授業でしたか-

※複数回答	小学校	中学校	高校	大学
国語	20	20	6	基礎国語
古典		1	3	
その他（国語・道徳 他）	1	1		
その他（多文化理解）			1	

-どんな題材を使用していましたか-

・小学校（物語文、本読み・漢字の書き取り、討論、話し合いの内容×2、学級会での意見、学級討論会、ディスカッション、道案内、教科書×2、教科書につ

いてくる先生用のもの、カセット教材、CDテキスト×2、テレビ×2、日本語であそぼう・テレビ）

・中学校（教科書×2、討論、いろは歌、物語文、カセット教材、「蜘蛛の糸」、「高瀬舟」、重松清「タオル」などの文学作品、教科書に掲載されている文豪の小説、学級会での意見、学級討論会、ディスカッション、CDテキスト、日本語であそぼう・テレビ、テレビ番組）

・高校（歌舞伎や能の聞き取り・「竹取物語」朗読の聞き取り、にほんごであそぼう・テレビ、教科書に掲載されている文豪の小説、教科書）

高校の古典：教科書

<H30年度>

ある 49名／ない 29名

※複数回答	小学校	中学校	高校	大学
国語・現代文	25	24	20	
国語・古文		4	5	
その他（ビジネス基礎）			1	1

・小学校（教科書×2、CD、物語、純文学、百人一首、何かの説明、先生と児童の会話、ディベート、聞き取りテスト、NHK教育番組）

・中学校（教科書×2、CD×2、カセットテープ、純文学、物語文、「竹取物語」、文学「坊ちゃん」、ラジオ、時事ニュースなど、聞き取りテスト）

・高校（教科書、CD×2、純文学、「竹取物語」、テレビ番組、NHK教育番組、ガイヤの夜明け、「この世界の片隅に」、聞き取りテスト）

解答の中に「詳しく覚えていませんが」「忘れましたが」などと書かれていることが多いが、その中でも、前回の調査では回答に出てこなかった「話し合いの内容、学級会での意見、学級討論会、ディスカッション」など、（アナウンサーなどにより聴解用に作成された教材である可能性もあるので言及はできないが）オーセンティック教材の使用もうかがえる。

5. 効果的なオーセンティック教材

5.1 アンケート調査

授業で取り上げた聴解教材について3点について質問を投げかけた。以下、その結果をまとめたものである。

<H29年度>

問2 使用した教材の難易度は適当であった

1 そう思う [54名] / 2 だいたいそう思う [33名] / 3 あまりそう思わない [3名] / 4 全くそう思わない [1名]

<難しいと感じた回>

※複数回答あり	選択肢	1	2	3	4
第1回（「舟を編む」）			2		
第2回（ノーベル賞・大隅）		8	10	1	
第3回（ネット党首討論）		9	8	1	
第4回（「君の名は。」）					
第5回（恐怖の克服は～）		3			
第6回（やる気の～）		2	2		
第7回（「この世界～」）		2			

問3 聞き取り練習として今回のような「身近な題材」を教材として使うのは良いと思う

1 そう思う [77名] / 2 だいたいそう思う [14名] / 3 あまりそう思わない・4 全くそう思わない [0名]

問4 聞き取り練習を通して（以前より）日本語の聞き取りに対する意識が高まった

1 そう思う [45名] / 2 だいたいそう思う [39名] / 3 あまりそう思わない [6名] / 4 全くそう思わない [1名]

<H30年度>

問2 使用した教材の難易度は適当であった

1 そう思う [40名] / 2 だいたいそう思う [31名] / 3 あまりそう思わない [4名] / 4 全くそう思わない [3名]

<難しいと感じた回>

※複数回答あり	選択肢	1	2	3	4
第1回（「舟を編む」）		1	2	2	
第2回（ノーベル賞・本庶）		7	3		1
第3回（ネット党首討論）		9	8	1	
第4回（林先生の初耳学）			2		
第5回（恐怖の克服は～）		1	1		
第6回（やる気の～）		7	3		
第7回（「この世界～」）		2	1		

問3 聴き取り練習として今回のような「身近な題材」を教材として使うのは良いと思う

1 そう思う [57名] / 2 だいたいそう思う [20名] / 3 あまりそう思わない [1名] / 4 全くそう思わない [0名]

問4 聴き取り練習を通して（以前より）日本語の聞き取りに対する意識が高まった

1 そう思う [39名] / 2 だいたいそう思う [35名] / 3 あまりそう思わない [4名] / 4 全くそう思わない [0名]

難しいと感じた回はH29年度も30年度も特に2回目と3回目に集中しているが、難しいとした学生が書いたその日のコメントシートを見ると、以下のように「男性」や「年配者」の声が聞きにくいと記入している人が多かった。さらに、気づきを書く学生もいた。

- ・前回の聞き取りは結構できたが、今回の聞き取りは全然できなかつたので、年配の人の聞き取りが苦手なことが分かった。（H29 第2回3年生）
- ・おじいちゃんの声がものすごく聞きとりにくかったです。記者の方は大変なのではないかなと思いました。（H30 第2回1年生）

・男の人の声は聞き取りづらいのはうすうす感じていたけど、改めて聞いてみると1回では聞き取れなかつた為、訓練が必要です。（H30 第3回3年生）

- ・聞き取りが難しかったです。人の顔とかくちの動きを見て、理解している部分もあるんだなあと思いました。（H29 第2回2年生）

5.2 語彙選択の問題

今回、新しい題材を取り入れたことで、二つの問題に直面した。一つ目は、H30年度の第2回で取り上げたノーベル生理学・医学賞を受賞した本庶佑先生のインタビューの内容だった。授業前日に聞き取り用紙を準備した際、⑥については、「いぎ／意義」という回答を用意した。しかし、授業後回収した穴埋め用紙を見ると、「いぎ／意義」と書いた学生が15名（全体の20.5%）であるのに対し、無回答2名を除く56名（全体の76.7%）の学生が「いみ／意味」と書いていた。それを受け、PCを変えたり、イヤフォンを利用したり、場所を変えて何度も聞いてみたのだが、「いみ」と聞こえるときも「いぎ」と聞こえるときもあった。そこで、朝日新聞デジタル版を見ていると、受賞インタビュー全文という記事があり、そこには「意味」と記載されていた。これまで自身の聴解能力に頼っていたが、公に文書で出ている物に関しては照会が重要であることを感じた。

二つ目の問題は、放送問題用語、俗に言われる放送禁止用語をチェックする必要があることだ。H29年度並びに30年度の第5回に取り上げた聽解の中で、「継母」という言葉が出てくるが、現在、「継母」には「継子（ままこ）いじめ」のイメージが付きまとうため、放送協会では使用を自粛するリストに入っている。今回はまさに、シンデレラの物語の引用だったので問題はないが、そのためか「継母」の漢字が書けない人が2割程度いた。また「義母」と書く回答もあった。

6. まとめ

聴解学習の実施、誤答の分析、履修者のコメントから適切な教材また学習効果について分析を試みた。

旧稿において大学以前の、日本語（母語）に関する「聞く」教育について調べていくうちに母語話者に対する母語を聞く教育はコミュニケーションの一環として位置づけられていることがわかった。しかし、履修者のコメントシートにあった「今回の聞きとりは前回よりかなり聞きやすいと感じたのですが、案外まちがえていて、日常生活でも実は違う言葉で聞き流してしまったことがあるのだろうと思った。（H30 第2回3年生）」という意見に代表されるように、相手の話を正確に聞き取っていなかったためにコミュニケーションに障害が生じることも考えられる。そのため、正確に言葉を捉える聴解学習は、聞くことの訓練となり、母語話者にとっても有効であると言えるだろう。

また、「日本語の聞きとりをはじめてやった。すごく楽しかったです。（H29 第1回3年生）」「自分が生活している中で意外としらない言葉もあるのだと気づけて、とても楽しいと感じました。（H30 第1回2年生）」「20年生きていてもまだ知らない言葉も今日の授業だけでも多くあったので知識が増えて楽しかったです。（H30 第1回3年生）」などのコメントからも、知らないことに気づき、知識を増やすことに楽しさを見出せることを考えると、聴解学習の効果がありそうだ。

本稿においても、テレビ視聴（字幕放送）と聴解能力の関係を探ってみたが、テレビ視聴の時間が長い人が必ずしも字幕を読んでいるわけではなく、また、番組の内容から字幕を読むか、読まないかの一定の現象も見られなかつた。しかし、3.2（字幕について）で触れたように、字幕を意識している履修者もあり、全く関係がないとも言い切れず、本件については引き続き調査する必要がありそうだ。

旧稿から課題となっている、効果的なオーセンティック教材を考えた時、「普段聞きなれていないニュースで使われる言葉をしっかりと聞いてみる。（H29 第3回3年生）」また、「聴解のために色々な年代、性別の人と幅広く話してみることも大事だなと思いました。（H29 第2回2年生）」というコメントにあるように、日本人学生が聞き取れるであろうものと聞き取れないであろうと推測できるものをうまく組み合わせ、聴解学習への興味・関心を失わないふうが必要であろう。

題材のみならず、会話の中のどの言葉を聞きとらせるかの語彙選択に関しては、何らかの基準を設けることにより、誤答分析の客観性を増す手助けとなるため今後の課題である。

これまで三度授業に聴解学習を取り入れてきたが、コメントシートを見る限り、聞き手として聴解に臨むことで、自分の活舌について振り返ったり、社会には自分の知らない言葉が多くあることや、漢字能力が低下していることを感じるなど、履修者自らの気づきが多くあるようだ。今後も、課題に取り組みながら日本人学生を対象に調査を続けたい。

参考サイト

- http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu09_02000217.html
総務省ホームページ「平成 29 年度の字幕放送等の実績」（平成 30 年 9 月 28 日）2019.2.10 閲覧
- http://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/hodohappyo/pdf/2016092101_besshi.pdf
文化庁ホームページ「平成 27 年度「国語に関する世論調査」2016.10.30 閲覧
- <https://www.youtube.com/watch?v=ZOiiHHxMqE4>
「舟を編む」第3弾 PV 2016.9.25 視聴
- https://www.youtube.com/watch?v=46_4zjCuDUE
10/3：ノーベル賞 大隅良典・東工大 オートファジーを解説する 2016.10.4 視聴
- <https://www.youtube.com/watch?v=uISHgjUanlA>
「君の名は。」スペイン・シッチャス映画祭で「最優秀長編作品賞」めざましテレビ（10/17）2016.10.17 視聴
- https://www.youtube.com/watch?v=_HqGC6w6Xt8
ネット党首討論会（2017.10.7）2017.10.9 視聴
- <https://www.youtube.com/watch?v=Gxr1gn5hucs>
TEDxTokyoxyz 恐怖の克服は身体をつかえ 2017.10.24 視聴
- https://www.youtube.com/watch?v=q0_TvVQLyao
やる気のなかった大学生 300 人を感動、本気にさせた伝説のスピーチ 2017.11.12 視聴
- <https://www.youtube.com/watch?v=3chkcjiqlPE>
「この世界の片隅に（こうの史代作）」山田玲司ニコ論壇時評 2016 年 12 月 14 日号 2018.1.8 視聴
- <https://www.youtube.com/watch?v=HFa6Px12ixI>
10/1 ノーベル医学・生理学賞受賞インタビュー 2018.10.2 視聴
- <https://www.youtube.com/watch?v=On8h9kPNg7c>
TBS テレビ『林先生が驚く初耳学！』 2018 年 10 月 14 日放送 2018.10.15 視聴

「文化の探究 F—2 (ふしぎな日本語)」

10/1 ノーベル医学・生理学賞受賞インタビュー 聴解<https://www.youtube.com/watch?v=HFa6Px12ixI>

えー、この度は、ノーベル医学生理学賞を頂くことになりました大変

(① めいよ / 名誉) なことだと喜んでおります。

まあ、これはひとえに長いこと苦労してきました (② きょうどう / 共同) 研究者、
学生諸君、またさまざまな形で応援して下さった方々、また、長い間、支えてくれました
家族、まあ、本当に言い尽くせない多くの人に感謝いたしております。

1992 年の「PD-1」の発見と、それに続く極めて基礎的な研究が、新しいがん
(③ めんえきりょうほう / 免疫療法) として臨床に応用され、そして、たまにで
はありますが、この治療法によって重い病気から (④ かいふく / 快復 ・ 回復)
して元気になったと、あなたのおかげだと言われるときがあると、本当に私としては自分
の研究が本当に (⑤ いみ / 意味) があったということを (⑥ じつかん / 実
感) し、何よりも嬉しく思っております。

まあ、そのうえに、このような賞を頂き、大変、私はこうふん、幸運な人間だというふ
うに思っております。今後、この (③) がこれまで以上に、多くのがん患者を救うことにな
るように、まあ一層、私自身も、もうしばらく研究を続けたいと思いますし、世界中の
多くの研究者がそういう目標に向かって努力を重ねておられますので、この治療法がさらに
発展するようになると期待しております。

また、今回の、基礎的な研究から臨床につながるような発展ということで受賞できたこ
とによりまして、基礎医学分野の、発展が一層 (⑦ かそく / 加速) し、基礎研究
に関わる多くの研究者を勇気づける、ということになれば、私としてはまさに (⑧ ぼう
がい / 望外) の喜びでございます。以上です。

①から⑧のことばは、次のどれに当てはまるか数字を書いてください

- 【1 自分でも使っている / 2 自分では使っていないが意味はわかる /
3 聞いたことはあるが意味は知らない / 4 言葉自体知らなかった】

①_____ ②_____ ③_____ ④_____ ⑤_____ ⑥_____ ⑦_____ ⑧_____

資料2

2017.10.11(水)／2018.10.10(水)実施

「文化の探究F—2（ふしきな日本語）」

ネット党首討論会（2017.10.7）聴解

https://www.youtube.com/watch?v=_HqGC6w6Xt8

アナウンサー「では、ここからは（① きよしゅ／挙手）制、30秒以内の討論に入ります。松井さん」

松井「はい。えー、枝野さんにお伺いします。先ほど、えー、今、憲法に（② めいき／明記）しなくとも、多くの事は法律でできると、こうおっしゃいました。えー、教育無償化、われわれは（③ かかげて／掲げて）おります。先程枝野さんは、保安法制については、えー、法律を廃案にして見直すと、教育無償化も法律で通っても、政権が変われば、これまた教育が有償になってしまいます。憲法に位置付けることを是非、ご理解をいただきたいと、こう思うんですけれども、いかがでしょうか。」

司会者「枝野さん」

枝野「あの、教育の無償化のような、あ、政策というのは、財源の裏付けがあって初めてできることです。ただ、憲法に述べたからと言って財源がなければできません。その財源などをしっかりと確保することのほうが、政治としてリアリティのある重要なことであって、憲法に書いたからと言って、財源が確保できなければ実行できない。それは国民の最低限の生活を（④ ほしょう／保障）するという規定だって、実はどれぐらい実行性を（⑤ たんぼ／担保）されているのか、70年経っても十分ではありません。むしろ、具体的な財源確保を、あの、示していく、ことのほうが重要だと思います。」

司会者「中野さん」

中野「わたしたちはいわゆる、九条問題、安倍さんにです。わたしたちはいわゆる九条問題について独自の考え方を持っておりますけれど、こだわってはおりません。安倍さんが5月に、いわゆる九条問題について、自民党総裁として、ああいう発言をされた。それから、この九条問題、いろいろ、論議が高まって結構なことだと思っておりますけれども、（⑥ ほんい／本意）を改めてお聞かせいただけませんか。」

司会者「安倍さんお願いいたします。」

安倍「この憲法について、ま、決めるのは、松井さんがおっしゃったとおり、国民です。普通の法律であれば、国会で、衆議院、参議院過半数あれば成立しますが、この憲法は、三分の二の（⑦ ほつき／発議）を経て、国民が、決める、ものであります。ですから、国民的な議論を深めるために、そして、キンポウ、憲法審査課の議論を高めていくために、（⑧ あえて／敢えて）、どのような発言をしたわけであります。今後ですね、国民的な議論が広がり、深まっていくことを期待したいと思います。」

①から⑧のことばは、次のどれに当たるか数字を書いてください

- 【1 自分でも使っている／2 自分では使ってないが意味はわかる／
3 聞いたことはあるが意味は知らない／4 首葉自体知らなかった】

①_____ ②_____ ③_____ ④_____ ⑤_____ ⑥_____ ⑦_____ ⑧_____

資料3

2018.10.17(水) 実施

「文化の探究F—2（ふしきな日本語）」

TBSテレビ『林先生が驚く初耳学！』 2018年10月14日放送 聴解

<https://www.youtube.com/watch?v=0n8h9kPNg7c>

さらに～！今週がねらい目の北海道発、ネタがこぼれまくりの回転寿司。北海道では知らない人はいない、人気の回転寿司店「とっぴ～」。

新鮮なネタが、舌の肥えた道民たちを唸らせ、(① れんじつ／連日) 行列を作る人気店が、今年東京・お台場に(② はつしゅってん／初出店)。向かったのは…

橋本「今回は自信あります。なぜなら、寿司ですから。お寿司といえば銀シャリ、これ1発目オファー、絶対です。ありがとうございます！」

般 「ふざけんなよ～！ もっとしつくり来る人おるに決まってるやん」

橋本「おるう？」

般 「断られてんねん！ オファーを！」

橋本「お寿司で1発目躊躇にオファー出した？」

般 「がり屋崎省吾さん」

橋本「いや、假屋崎省吾さんやねん」

橋本「でも、まあ、がり屋崎さんは忙しいから、これもがり屋崎さんだけにしようがないわ」

般 「うまい！」

ちなみにお台場近くの(③ とよす／豊洲)市場がついにオープン。今後は混雑が予想されるので、行くなら今のうちなんです。では、舌の肥えた道民をも唸らせるその味とは？

橋本「ちょっと、これ」

般 「なんや、これ!？」

橋本「(④ あふれ／溢れ) 出てますよね？」

まずは、「とっぴ～」(⑤ めいぶつ／名物) のこぼれえんがわ。こぼれずしには珍しいえんがわを、こんなに載せて302円。北海道各地の漁師さんと契約を結ぶことで、(⑥ りょう／漁) の結果に左右されない安定した仕入れ数を(⑦ かくほ／確保)。格安の値段を実現しているんです。

橋本「全部(⑧ せんい／繊維)が溶けていく感じの。」

スタッフ「甘味があります」

橋本「甘い！」「鬼平犯科帳の、あの帽子みたい」

①から⑧のことばは、次のどれに当たるか数字を書いてください

- 【1 自分でも使っている／2 自分では使っていないが意味はわかる／
3 聞いたことはあるが意味は知らない／4 英語自体知らなかった】

①_____ ②_____ ③_____ ④_____ ⑤_____ ⑥_____ ⑦_____ ⑧_____

「文化の探究F—2（ふしきな日本語）」

恐怖の克服は身体をつかえ 聰解TEDxTokyoYoz <https://www.youtube.com/watch?v=Gxr1gn5hucs>

例えばシンデレラという話。意地悪な(①ままはは／継母)を倒します。意地悪な(①)を倒して、え、お姉さんたちも、あの人たちも、ま、倒します。いなくなります。で、王子様とハッピイエンド、本当ですか。王子様と結婚します。えー、結婚からがスタートですよ。結婚、で、王子様と結婚します。王子様と結婚したら、(②しゅうとめ／姑)が敵になるかもしれないでしょ、次は。もしかすると、王子様には浮気相手ができちゃうかもしれないでしょ。浮気相手が敵になるかもしれないでしょ。人類というのは敵を常に作り続けるんです。見えない敵が必ずいるんです。それは、どんなに強くっても一緒です。例えば、超大国アメリカ。アメリカは、まあ、世界の中で、ほぼ一番に強い国です。そのアメリカという国が、第二次世界大戦中、「悪の枢軸国」と言って、ドイツ、イタリア、日本を敵に戦いました。倒したら、あ、これで平和が来るんだと思った。ところが、その後には、ソ連という、共産主義の超大国が怖くてしょうがなくなる。そして、さらに、その近くには、中華人民共和国という共産主義の大國が現れる。わあ、怖い。また敵を作るんですね。米ソ冷戦というやつです。米ソ冷戦をした。ところが離れているから、アメリカにしてみると、ちょっとイディアルな敵だった目に見える敵がほしい。どうなるのか、いわゆると、この赤狩りというやつです。マッカーシー議員に始まる、マッカーシズム。国内の中で、共産党(③シンパ)とみられるやつを全部リストアップして、(④だんあつ／弾圧)していくんです。敵というのはずうつといなくならない。恐怖が敵をつくり、そして、人間はそれによって動かされている。こんなこと繰り返し続けていいのか。そこでちょっと私考えました。ちょっと歴史に戻ってみよう。古代ギリシャ、アポロン(⑤しんでん／神殿)。デルフォイというところにあるんですけどもね。デルフォイのアポロン(⑤)の入り口のところには(⑥かんばん／看板)がかかっていたそうです。“γνῶθι σεαυτόν(gnōthi seauton)”「(⑦なんじ／汝)自身を知れ」というふうに書いてあった。「(⑦)自身を知れ」まさに答えが、ここにあります。自分自身を知ることによって、自分自身が恐怖、そして怒りそうした感情の(⑧どれい／奴隸)にならなくて済むんです。

①から⑩のことばは、次のどれに当たるか数字を書いてください

- 【1 自分でも使っている／2 自分では使っていないが意味はわかる／
3 聞いたことはあるが意味は知らない／4 音葉自体知らなかった】

①_____ ②_____ ③_____ ④_____ ⑤_____ ⑥_____ ⑦_____ ⑧_____

2017.11.15（水）／2018.11.7（水）実施

「文化の探究F—2（ふしぎな日本語）」

やる気のなかつた大学生300人を感動、本気にさせた伝説のスピーチ 聴解https://www.youtube.com/watch?v=qO_TvVQLyqo

さあ、これも、じゃ、同じく見ていきましょう。

一時間と首う時間、(① じゅみょう／寿命) を差し出しています。体力、(② ろうりょく／労力) も差し出しています。それと引き換えに950円もらっています。さあ、これだけで考えたら、やっぱり、安いんです。だって、考えてみましょう。さつきね、悪魔と取り引きしました。いつ、一年間をいくらで売りました。考えてみましょう。一年間365日、かける、一日24時間、であれば、一年間の時間数っていうのが出てきます。わかりますか。365、ね、365日かける24です、ね。それと比べて、ね、950円、じゃあ、かけてみたら、いくらですか。そんなたいした金額じゃないはず、しかもね、これ、(③ ふみんふきゅう／不眠不休) でやっての計算ですからね。それでいっちゃんとうね。実際(④おそらく／恐らく)は、950円の一年分よりも、高い金額を設定したはずなんです。まあ、そうじゃない人もいるかもしれませんけどね。もし、高い金額を設定しているんだとしたら、950円で働くのってやばくないですか。マイナスしまくっていますよ。

でもね、これも、見方によって全然変わっちゃうんです。950円だけしかゲットできていないんだったら、最悪です。ところが、ここでは、いろいろなものが手に入るんです。例えば、仕事のスキル、人生経験、そして、大切な人の出会い、これも同じです。アルバイトで、いつも接客をしているおかげで笑顔ができるようになった、経営者のお客さんが多かったから、社長の(⑤ じんみやく／人脈)が増えた。細かいマナー、(⑥ れいぎさほう／礼儀作法)が身についた。あるいはお客様に、ね、インターンシップ先の経営者が来ていって、それがきっかけで内定がもらえちゃった。あるいは、アルバイト、さつきと一緒にですね。アルバイト先で、恋人ができて、それが将来の結婚相手になつた。もう。(⑦ プライスレス)になってしまいます。そういうのも全部なんです。すなわち、人生で我々が動いているとき、生きているときっていうのは、お金も動くんだけど、経験とか、スキルとか、出会いとか全てが入っているんです。

だから、できるだけいろんな人と会うとか、いろんな行動をとるとか、いろんな動きをする、人になればなるほど、得するのは、どっちなんでしょう。手抜いてできるだけやらないような考え方で950円だけとるか、それとも950円以上の価値を手に入れるっていう考え方をするか。それによって、人生は劇的に変わっちゃうんです。もう一回言います。命を失うことや、お金を失うことよりも、もっと怖いこと。失っていることに気づいていないことなんです。得していると思っていることが、実は損だったということに気づいていないのが、後で気づいたとき、それは大きな(⑧ ざいあくかん／罪悪感)と後悔になります。

①から⑧のことばは、次の1から4のどれに当てはまるか数字を書いてください

- 【1 自分でも使っている／2 自分では使っていないが意味はわかる／
3 聞いたことはあるが意味は知らない／4 英語自体知らなかった】

①_____ ②_____ ③_____ ④_____ ⑤_____ ⑥_____ ⑦_____ ⑧_____

「文化の探究F—2（ふしきな日本語）」

「この世界の片隅に（こうの史代作）」山田玲司ニコ論壇時評 2016年12月14日号 暫解

<https://www.youtube.com/watch?v=3cHkcjiqLPE>

まあ、とにかく特別じゃない主人公が、(① たんたん / 淡々)と頑張って失敗するっていう、まあ、ひとつは『脱特別』っていうね。あのね、もうね、スペシャルっていうものがね、あの、日本人にね、植え込まれて、高度経済成長で、「ジャパン・アズ・ナンバーワン」で。特別、だから、あの、選ばれし(② ゆうしや / 勇者)兼、剣の魔法、王族、みたいな、もの。ドラクエ思想。これが、もう、ドラクエがピークなの。で、そっから自信失うんだよ、バブル(③ ほうかい / 崩壊)から。だけど、これの、そのなんか、(④ ざんぞう / 残像)がずっと続いてきた、いわゆる、「セカイ系」っていう。やつ。それのとどめをうったよね。完全に。だから、これは、すごい、これはね、ちょっと見たことがないくらい、はっきりと、それをやっていて、象徴的のが、「わたげ」ですよね。だから。たどり着いたところで、太い根を張るという。それをまあ、摘もうとする周作さんも止めるっていうね。広島に生えているもの、呉に生えているものは違う。私飛んできましたっていう。わかりやすいやつなんだけど、そこで、まあ、強いこと言わないんだよね。「摘まないでください」しか言わないっていう、さ。そのへんのところもすごい。スペシャルなヒーローかヒロインじゃないっていうのが、最後までそれでいつちやうっていうのが、まあ中々すげえなっていうのと。

あともう一つね。映画って基本的に失恋から始まるんですよ。で、失恋、もしくは事故、もしくは不幸。つまり、その、何かしらよくないことが起こって、そこから(⑤ かいき / 回帰)していくっていうパターンが、まあ、映画のまあ、(⑥ おおすじ / 大筋)の、パターン化しているひとつなんだけど、まあとにかく『脱不満』。この作品は主人公が不満を言わない、っていうね。これも見たことがない。なんでかつつうと、あの、基本的に、不満があるから映画館に行って、で、不満のある主人公に感情(⑦ いにゅう / 移入)して、それが解決されるっていうふうなカタルシスを持っていくんだけど、この人、あんだけ(⑧ ふぐう / 不遇)な状況に陥りながら、ましなほうだと思っているんだよね。これもなかなか。ただ、これは失った日本のものなんだけど。まあ、その、かつてはそういうふうに生きていたっていうのを、まあ、わかりやすく出しているんだけど。

①から⑧のことばは、次のどれに当てはまるか数字を書いてください

- 【1 自分でも使っている / 2 自分では使っていないが意味はわかる /
3 聞いたことはあるが意味は知らない / 4 言葉自体知らなかった】

①_____ ②_____ ③_____ ④_____ ⑤_____ ⑥_____ ⑦_____ ⑧_____

資料7

2018.1.24（水）実施

聴解に関するアンケート

問1 これまで国語などの授業で日本語の聞き取りをしたことが【ある・ない】

【あると答えた方】

何の授業でしたか → 【国語（現代文・古文）・その他（ ）】

いつの授業でしたか → 【 小学校・中学校・高校・その他（ ）】

どんな題材を使用していましたか → 【 】

【今学期に取り上げた聞き取りに関する質問】

- ①2017.9.27 「舟を編む」第2弾PV
- ②2017.10.4 「ノーベル生理学・医学賞を受賞した大隅良典氏が東工大で会見」
- ③2017.10.11 「ネット党首討論（2017.10.7）」安倍晋三・枝野幸男・中野正志・吉田忠智・松井一郎
- ④2017.10.18 「君の名は。」カタルーニャ国債映画祭でアニメーション作品部門の最優秀長編作品賞受賞
- ⑤2017.10.25 「恐怖の克服は身体をつかえ」小出一富
- ⑥2017.11.15 「やる気のなかつた大学生300人を感動、本気にさせた伝説のスピーチ」渋谷文武
- ⑦2018.1.11 「この世界の片隅に（こうの史代作）」山田玲司ニコ論壇時評

※問2から問4の設問に関する答えを、

【1. そう思う 2. だいたいそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない】
の中から選んで1～4の数字で書いてください。

問2 使用した教材の難易度は適当であった。【 】

難しいと感じた回【 】

問3 聞き取り練習として今回のような「身近な題材」を教材として使うのは良いと思う。

【 】

問4 聞き取り練習を通して（以前より）日本語の聞き取りに対する意識が高まった。

【 】

【テレビ視聴に関する質問】

問5 平均すると一週間に合計何時間テレビ（ニュースを含む）を見ていますか。【 】時間

問6 どんな番組を見ますか。※下の【 】の中で、見るものにいくつでも○をつけてください

【 ニュース・ドラマ・音楽・バラエティー・クイズ・ドキュメンタリー・その他（ ）】

問7 テレビを見るとき、画面に出る日本語字幕を読んでいますか。

上の選択肢から選んでください。【 】